

講義科目名称： 地域・在宅看護論演習

授業コード： 2230301300

英文科目名称： Practice in Community & Home Health Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
担当教員			
◎関睦美、久保野裕子、野村優希、佐藤さゆり			
添付ファイル			

授業種類	<p>【開講】 前期</p> <p>【授業時間】 30時間</p> <p>【担当教員】</p> <p>【氏名】 ◎関 睦美 久保野 裕子 野村 優希 佐藤 さゆり 実務経験のある教員が担当します。</p> <p>【研究室】 301 共同研究室2 共同研究室2 共同研究室2</p> <p>【本学の科目区分】 専門科目</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程・保健師課程</p> <p>【DP1】 ○ 【DP2】 ◎ 【DP3】 ○ 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】</p>
------	---

到達目標	<p>1. 訪問看護における看護過程の展開を行い、個別性のある看護計画を立案することができる。</p> <p>2. 訪問看護活動に必要な基本的な知識・技術・態度を習得する。</p>
授業概要	在宅療養者と家族、地域を理解するため情報収集と把握枠組みを理解し、生活課題を支援するための日常生活の援助技術、医療上の課題を支援するための医療処置技術、リスクマネジメント、ターミナルケアの看護技術を学ぶ。
授業計画	<p>1 授業内容 授業形態：講義 学習課題：コースガイダンス、訪問時のマナー 学習内容：訪問時のマナー 備考：関</p> <p>2 授業内容 授業形態：グループワーク 学習課題：看護過程の展開と情報把握枠組み 学習内容：地域・在宅看護論での看護過程の特徴、看護過程を展開するための情報把握枠組みの活用方法 備考：関</p> <p>3-5 授業内容 授業形態：グループワーク 学習課題：事例の看護計画立案 学習内容：看護計画立案 備考：関、久保野、野村、佐藤</p> <p>6 授業内容 授業形態：グループワーク 学習課題：事例の看護計画立案 学習内容：看護計画立案の発表 備考：関、久保野、野村、佐藤</p> <p>7-8 授業内容 学習形態：グループワーク 学習課題：日常生活援助のケア計画の立案 学習内容：事例を用いたケア計画の立案 セルフケア支援計画の展開 家族支援計画の展開 備考：久保野、野村、佐藤</p> <p>9 授業内容 授業形態：グループワーク 学習課題：事例の日常生活援助計画案 学習内容：日常生活援助計画の発表 備考：久保野、野村、佐藤</p> <p>10 授業内容 授業形態：講義</p>

	<p>11-13</p> <p>学習課題：生活の場で実践する医療処置技術 学習内容：生活の場での安全な医療処置技術 備考：関 授業内容 授業形態：演習 学習課題：生活の場での医療処置技術と家族への指導 学習内容：在宅酸素療法、経管栄養法、在宅中心静脈栄養法、HMV・NPPV 備考：関、佐藤、ゲストスピーカー</p> <p>14</p> <p>講義 授業形態：講義 学習課題：在宅でのリスクマネジメント 学習内容：リスクの特徴、感染防止、災害時の備え 備考：関</p> <p>15</p> <p>授業内容 授業形態：講義 学習課題：在宅でのターミナルケア 学習内容：在宅ターミナルケアの実際 備考：ゲストスピーカー</p>
事前・事後学習	<p>事前学習：地域・在宅看護論演習では基礎看護等を応用する力が必要になります。既習の日常生活援助、医療処置について復習し、授業に参加のこと。</p> <p>事後学習：個別的な看護計画の立案、日常生活援助、医療処置について検討する。</p>
評価方法、評価基準	看護計画内容20%、日常生活援助計画内容15%、グループワーク参加度10%、医療処置レポート20%、在宅ターミナルケアのレポート5%、筆記試験30%（到達目標2の達成度を評価する）
必携図書	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論[2] 地域・在宅看護の実践 医学書院
参考図書・資料等	参考図書は授業時に紹介する。資料等は、必要時に配布する。
受講、課題、資料配布等のルール	出席確認は、どこカレ等で行う。ドコカレ未入力や20分以上の遅刻、途中退室は欠席とみなす。資料は授業開始時に配付する。欠席した場合は、授業1週後までに授業資料を取りにくること。
教員からのメッセージ	既習内容と統合し学習を進めて下さい。積極的な授業への参加を期待しています。
オフィスアワー	